



対話と交流による信頼関係を築こう～自分のよさに気付くために～

校長 只木 雅実

[7月全校朝会の講話より]

今日は、ある少年と友人のエピソードを紹介します。2人は同じ高校に入学し、野球部に入部します。憧れの甲子園出場を目指して部活動に情熱を注ぎ、高校3年生の時には、ともにレギュラーとして大会に出場しましたが、夢は叶いませんでした。



高校卒業後、20年以上経過して少年と友人は、久しぶりに再会しました。2人は、様々な話をしました。話題は、高校最後の試合のことになりました。その試合は、大接戦で、延長戦となりました。勝敗が決まる最後の瞬間は、少年が守るポジションに飛んだ強い打球がヒットとなり、相手の得点で、逆転サヨナラ負け。部活動の引退が、決まった瞬間です。友人はその瞬間を突然思い出して、少年に次のような言葉をかけてきました。

「外野の間を完全に抜かれた打球が飛んだ瞬間に、自分はすぐに負けたと思った。でもお前は、最後まで猛然と追いかけて、ボールをつかむと俺に投げ返してきた。最後まで試合をあきらめていなかった。お前の最後まであきらめない気持ちは、今でも俺の記憶に強く残っている。」

友人のこの言葉を聞いた時、少年には、友人の記憶に残る行動ができたことへの満足感と、「自分のよさ」に気付かせてくれた友人に対する感謝の気持ちがわいてきました。そして、友人の言葉によって、「18歳の時の自分の行動に誇り」をもつことができました。

このエピソードから、皆さんに聞いてみたいことがあります。自分が、「自分のよさ」に一番気付けるのはいつでしょうか？試合に勝った時や点数が上がった時でしょうか？

私は、結果以上に、「学びや友人との対話の中で、何かに気付いたり、理解したりして、自分自身が変わり、世界が広がっていくことを実感できた時こそ、「自分のよさ」に一番気付けるのではないかと思います。



自分のよさに気付くために皆さんにしてほしいことは以下の2つです。

① 1日の振り返りでは、「自分のよさ」についての気付きも確認してみよう。

- ・フォーサイト手帳や日記などに「自分のよさ」の気付きを記録してみよう。
- ・メディアと学習のバランスがとれた生活を進めよう。メディア学習強調週間などを利用して、生活をコントロールする力を身に付けることで、自分が変わったと実感できます。「自分のよさ」を実感できるチャンスを大切にしてほしいです。

② 相手のよさに気付いたら、積極的に伝えよう。

- ・相手にとっては、20年以上前の行動を仲間が認めてくれたことで、誇りをもてる機会となることもあります。
- ・相手のよさを見つけて、伝えることできるのは、あなたの素敵な長所の1つです。

WHO 世界保健機関では、「ウェルビーイング」いう言葉を、「心も体も社会的にも満足な状態」として定義しています。「心も体も社会的にも満足な状態を、自分も、社会全体でも目指していきましょう」という考えです。

①「自分のよさ」を振り返ること、②「相手のよさ」に気付いたら伝えること、このような対話と交流を進めることは、自分やみんなの幸せ（ウェルビーイング）につながります。自分のよさを実感できる対話と交流で、1学期を大切に締めくくりましょう。

7月24日 1学期終業式 代表生徒の「1学期を振り返って」

1年生代表

岩船中学校に入学して4か月が経ちました。4月に入学したときは、中学校では何を学ぶのかなというワクワクした気持ちと、ちゃんと授業についていけるのかなという不安の気持ちがありました。小学校の時は、授業の内容が理解できなくてついていけなくなったことがあったので、中学校では授業についていけるように頑張りたいと思っていました。そこで、私が1学期に努力したことは、毎日、自学をすることです。自学は、いつも30分以上は、取り組みました。自分が覚えやすいよう書き方を工夫したり、ワークで間違えた問題は、理解するまで繰り返し解いたりしました。これからだんだんと内容が難しくなっていくと思うので、2学期も続けて授業についていけるように頑張りたいです。

最後に、私が夏休みに頑張りたいことは、学校で出された課題を計画的に進めることと、生活リズムを崩さずに過ごすことです。私は、計画通りに進めるのがすごく苦手で、いつもは夏休みのギリギリまで課題をとってしまっていたので、今度こそは、頑張ってお早めに終わらせて余裕を持てるようにしたいです。そして、休みだからといってだらけすぎないように、早寝早起きをしたり、メディアの時間を守って過ごしたりして、いっぱい遊んで楽しい夏休みにしたいです。

2年生代表

自分が1学期頑張ったことは、「挑戦」と「話し合い」です。まず挑戦についてです。自分は人前で話すことが苦手で、1年生の時はそれを避けていました。しかし、2年生になって何か変わらなきゃだめだと思い、少しずつみんなの前で発表することに挑戦しました。そのおかげで、今は前よりはみんなのまえで喋れるようになったと思っています。今回の発表も、先生から話をもらったときに逃げずに挑戦できました。自分の苦手な部分を少しでも克服できてよかったです。自分は体育祭で応援リーダーになったので、練習からどんどん声を出して、軍団を盛り上げて、3年生をサポートしたり、1年生を引っ張ったりしたいです。

次に「話し合い」についてです。1年生の時は、班で何かやるとなった時には、あまり喋らずみんなに任せてしまっていました。話し合いも、振られたら話すけど、自分から進んで話すことが少なかったです。そこで、この1学期は、自分から進んで発言することを意識しました。その結果、話し合いにしっかり参加できたし、みんなと話し合えたと思います。

2学期頑張りたいことは、授業中の発言です。自分は、授業中にあまり発言できていないので、それも克服したいです。また、言葉に責任をもつことも頑張りたいです。自分が言ったことをしっかり実行するなど、言葉に責任をもって行動していきたいです。挑戦できる2学期にするために、明日からの夏休みもたくさん挑戦して、有意義なものにしたいです。

3年生代表

今学期は僕にとって、たくさんの学びがある学期になりました。

まずは、生徒会での活動です。生徒会入会式をはじめ、生徒総会、小中合同あいさつ運動、そして体育祭スローガン決定など、1学期は生徒会が担当する活動がたくさんあり、四役や委員長たちとたくさん話し合いをしてみんなで進めてきました。ですが、終わった後の反省会では「リハーサルが足りなかったよね」や「準備がギリギリだったね」などたくさんの反省点が出てきました。先生にアドバイスをもらい、もっと気を配っておくべきだった所を教えてもらいました。1学期に経験したことを、2学期、3学期にもつなげて、これからの活動がより良いものにできるようにしていきます。

次は学習についてです。単元別テストを受けるにあたって、それぞれの教科で過去問を解いて学習しました。どんな問題が間違えやすいか、よく分かっていないかを詳しく知ることができ、自分にあった学習法を立てて勉強することができました。結果は満足がいくものにはなりませんが、今回学んだことを活かして、苦手な教科は克服できるように、得意な教科は更に力をつけられるようにしていきます。

最後に修学旅行です。僕たちは、東京に行ってきました。東京はどんなところなのか、岩船と比べて、どんな違いがあるのかなどテーマを決めて学習してきました。特に印象深かったのは、電車の種類と本数です。班別自主研修の計画を立てていた時も、あまりの多さにどの線を使うのかに頭を悩まされました。当日も電車に乗る際のトラブルがありましたが、今となってはいい思い出です。浅草など東京の有名な所に行ったり、企業訪問したり、修学旅行では濃い経験がたくさんできました。修学旅行の班別自主研修については、3年生の廊下に掲示してあるので興味のある人はぜひ見に来てください。

今学期は、生徒会スローガンのように、主体性を持って挑戦してきました。2学期も更に挑戦し、成長していけるように周りとは協力していろいろな経験をしていきたいです。

防災教育〔岩船中学校・神林中学校合同（1・3年）〕

防災に関する意識を高め、将来にわたって活用できる知識を身に付け、行動できる生徒を育成するために防災教育を行っています。各学年が3時間ずつ学習します。この学習では、神林中学校の生徒と交流して、ともに学ぶことも目的にしています。1年生は、6月19・24日の2日間、神林中学校を会場にして、村上市総務課危機管理室の職員の皆様に講師に、学習しました。2日間の学習では、「マイ・タイムライン」を作成しました。洪水・土砂災害に関する知識を学び、地域のハザードマップを確認して、河川の水位が上昇する時に取るべき防災行動を考えました。岩船中、神林中の生徒で合同のグループを作り、互いに避難行動の考えを発表し合うことができました。

3年生は、7月3・17日の2日間、実際の避難所を想定し、疑似体験をする「避難所運営ゲーム」と振り返りを行いました。生徒が疑問に思った「避難所で私たち中学生ができることは」、「テント避難に関する課題は」などについて、直接、講師に質問していました。生徒が災害について自分事として考える姿が見られました。

2年生は、9月に防災教育を実施する予定です。



7月19日 2年ふるさと講座

2年生では、キャリア教育の1つとして、ふるさと講座を実施しました。岩船港鮮魚センター代表取締役社長 安宅 謙 様、常務取締役 青山 新次郎 様から講話をいただきました。お二人は、岩船中学校の卒業生であり、地域で活躍されている大先輩です。講話では、岩船港鮮魚センターの設立や概況、魚の現状と会社の役割、会社の目指すところ、会社がよいチームとなるために実践されていることなど、資料をもとにお話いただきました。特に、コロナ禍での会社経営のご苦労や、それを乗り越えるための様々な取組のお話から、お客様の考えていることを理解し、「幸せをお手伝いすることを大切にされていること」等、会社の思いや願いをお聞きすることができました。

生徒からは、「チームとして仕事をするために参考にした本とは」「他のお店をうらやましいと思うことはありますか」等の質問があり、働くことを身近に考える素晴らしい機会となりました。鮮魚センターの皆様が大切にしている本と、ペンケースを生徒のためにプレゼントしていただきました。この講座で学んだことをもとに、7月29日から3日間のキャリア・スタート・ウィークに生かしていきます。



6月28日 2学年PTA行事

2年生が2学年PTA行事で、カローリングというニュースポーツを体験しました。カローリングは、氷上で行うカーリングを室内でできるように開発されたスポーツです。相手チームのプレイヤーと交互にジェットローラーを投げて、得点ゾーンに多く置くことで得点を競います。生徒も次第にコントロールできるようになり、歓声が上がっていました。保護者の皆さんと一緒に、ニュースポーツで楽しいひとときを過ごすことができました。2学年PTA役員の皆さんが、企画、運営してくださいました。ありがとうございました。



充実した夏休みにするために

7/25(木)～8/25(日)まで、32日間の夏休みとなります。心と身体、健康管理を大切に安全で有意義な夏休みを送って欲しいと思います。休み中に行事等に参加する皆さんを紹介します。

【村上市中学生広島平和記念式典派遣事業】 8/5(月)～7日(水) 3年生徒

【郡市いじめ防止こどもサミット】 8/8(木) 3年生徒

【村上・岩船地区少年の主張大会】 8/21(水) 3年生徒

7・8月(夏休み)の主な予定

7/25(木) 夏季休業

25(木)～26(金)・29(月) 保護者面談

29(月)～31日(水) 2年キャリア・スタート・ウィーク

29(月) 村上桜ヶ丘高校体験入学

30(火) 中条高校体験入学

8/2(金) 新発田農業高校体験入学

8/5(月) 預り金引落日

8/5(月)～7(水) 中学生広島平和記念式典派遣事業

8/8(木) 新発田高校体験入学

12(月)～16(金) 学校閉庁日

19(月)～22(木) 3年生学習会(AM)

19(月)～22(木) 体育祭準備活動可能日

21(水) 村上・岩船地区少年の主張大会

23(金) 3年生単元別テスト

26(月) 2学期始業式、給食開始

【連絡】 夏季休業中の平日 17:00 以降や休日・祝日、閉庁日(8/12～16)の学校への連絡は、村上市教育委員会(72-6882)へお願いします。